

泰らぎ

Vol.55
2020年
新年号



医療法人社団温故会 永年勤続表彰
～温故会 総会より～



温故会



Japan Council
for
Quality
Health
Care
日本医療機能評価機構
認定第 JC1555 号

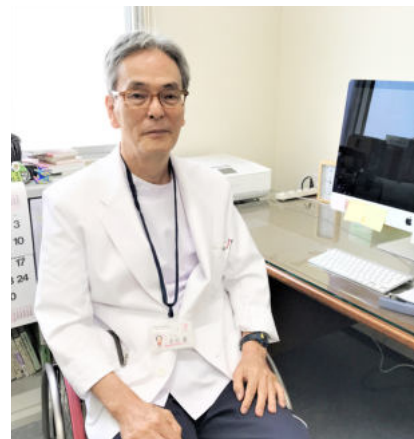
温故会
直方中村病院
福岡県認知症医療センター
<http://www.onkokai.jp/nakamura/>
編集・発行 直方中村病院広報委員会

- P1 表紙・目次
- P2 【新年のご挨拶】
～吉村院長より～
～安本看護部長より～
- P3 【研修のご紹介】
・第65回九州精神医療学会 参加の報告
【活動のご紹介】
・歩行訓練 ～認知症治療病棟より～
- P4 令和元年度 福岡県認知症医療センター
直方中村病院 一般市民向け講演会の報告
～地域医療連携室より～

新年のご挨拶

～吉村院長より～

皆さん明けましておめでとうございます。昨年には新しい天皇が即位され、元号が令和となり心新たに新年を迎えられていることと思います。しかしながら医療経済情勢は厳しさを増しており、昨年は424の公立・公的病院がリストアップされ、再編統合を視野に入れた改革を進める案が出されており、これは少子高齢化により国の医療福祉に費やされる予算が40兆円を優に超え、国家予算の半分に迫り、今後もさらなる増加が予測されることが要因としてあります。一般病院のみならず精神科病院においても例外ではなく厳しい状況にあります。しかし、ここで手を拱いて坐視するわけにはいきません。こうゆう時ほど皆が心をつにしてアイデアを出し、それらに対し色々な立場から真摯な検討を行う事が必要であると思います。将来に対するビジョン・方向性を明確にしてそれに向かって協力し合い、困難な状況をチャンスとして捉え直方中村病院のさらなる発展の為に力を尽くそうではありませんか。そして患者さんをはじめ職員の方たちが生きがいを感じ、将来に対して夢を持つ事ができる病院になることを心から願って新年のご挨拶と致します。



直方中村病院
院長 吉村 恵

～安本看護部長より～

新年のご挨拶 新年あけましておめでとうございます。年号が変わり令和2年となりました。昨年10月より直方中村病院の看護部長に就任しました。私自身、沢山の課題を意識していく行動の年でもあります。高齢化社会と言われる現状に当法人もどのようにして地域に向けて貢献が出来るのか大きく考える必要があります。当院は急性期治療病棟、療養病棟、認知症病棟と言う三つの軸で療養の世話に専念しております。また併設している介護老人保健施設すこやかではリハビリに特化し少しでも多くの方の在宅復帰を考え取り組んでいる次第です。認知症医療センターでは、地域に向けての高齢化対策を含めて活動しております。令和2年 は院内だけの取り組みでなく院外に向けて沢山の情報発信や皆様のお役に立てるような事が出来たらと考えております。地域に根付き信頼ある病院作りを目指して行きたいと考えております。



直方中村病院
看護部長 安本 圭一

研修のご紹介

第65回九州精神医療学会 参加の報告

12月12、13日の2日間にかけて行われた、第65回九州精神医療学会に参加してきました。
今年の会場は長崎ブリックホールです。

当病院からは精神療養病棟の工藤里美Ns 中村光映Nsによる『不安感、排尿困難を訴える患者に対する排尿自立への軌跡～「導尿して」から「おしっこ出たよ」へ～』

精神科デイ・ケアの梅野雄介OTRによる『認知障害のある利用者を受け入れたことで分かった精神科デイ・ケアの可能性と課題』

以上の2演題を発表致しました。
2演題とも、病院内で多くの助言をうけ、練習を重ねていたため、本番では自信を持って伝えることが出来ていたのではと思います。
また、多くの演題や特別講演を受け、とても勉強になった2日間でした。



活動のご紹介

歩行訓練 ～認知症治療病棟より～

毎週火曜日はスタッフ総出で歩行訓練です。認知症治療病棟の作業療法士は1名ですので看護師・ケアスタッフ総出で行っています。立ち上がる、立ってられる、一歩踏み出す…日常生活でとっても大切なことだと思っています。
毎日、リハビリの時間以外でも一歩ずつ、進んでいっていただきたいと思います。
昼御飯のメニューを読み上げてもらって終了。お茶を一杯飲みながら昼御飯を待ちます、運動のあとはご飯が美味しい。



～地域医療連携室より～

令和元年度 福岡県認知症医療センター 直方中村病院 一般市民向け講演会の報告

令和元年12月7日(土)13時30分より、直方市中央公民館1階大会議室にて、専門職の方だけではなく、地域住民の皆さんにも参加していただける講演会を開催しました。

「映画上映会&脳トレ体操」～今からでも遅くない!!脳活習慣～

ープログラムー

- 司会:直方中村病院 地域医療連携室 阿部 彩可
- ・開会挨拶(13:30～13:40) 直方中村病院 院長 吉村 恵
- ・映画上映会『「ピア」まちをつなぐもの』(13:40～15:20)
推薦:厚生労働省 神奈川県 文部科学省特別剪定作品
- ・「認知機能の低下の予防～家でも取り組める脳トレ～」
(15:30～16:10)
- 講師:直方中村病院 作業療法士 中禮 佑基・川口 千尋
- ・閉会挨拶(16:25～16:30)
直方中村病院 事務次長 安部 武俊



当日は83名の方に参加していただきました。「ピア」の映画は若手医師が悩みながらも懸命に在宅医療という高齢化社会の大きな課題に取り組んでいくという物語でした。医師や看護師、ケアマネージャー、介護福祉士、作業療法士等様々な職種が映画に登場しており在宅医療の重要性や在宅医療の難しさ、在宅ケアに関する多職種連携の重要性を改めて学ぶことができました。看取りの場面もあり、在宅医療における家族の気持ちについても理解することができました。専門職の方だけではなく、年齢を問わず全ての方に見ていただきたい作品だと思いました。

当院の作業療法士中禮による認知機能の低下の予防についての講演も認知症と物忘れの違いや認知機能の低下を促進する因子、脳トレのポイント等分かりやすくお話していただきました。実

際に当院の認知症治療病棟で行っている活動についても写真を用いて紹介がありました。また、講演だけではなく認知症治療病棟担当作業療法士の川口が進行、中禮がお手本となり、参加者のみなさんと一緒に頭や身体を使った脳トレ体操を行いました。高齢者だけではなく大人や子どもでも楽しく取り組める脳トレ体操でした。アンケートにも「よかった」の回答が多くを占めており「楽しかった」「自施設の活動として取り入れたい」等の感想をいただきました。

今回も多くの方に参加していただきましてありがとうございました。次回はR2年2月7日(金)に専門職向けの講演会の開催予定がありますので是非参加していただければと思います。詳細については当院ホームページやブログ、チラシにてご確認くださいと思います。